

協議事項41

令和5年度神戸市学校司書（会計年度任用職員）の募集について
令和5年4月の採用に向けた学校司書の募集について、協議事項として以下のとおり
提案する。

令和4年10月20日提出

神戸市教育委員会事務局
事務局長 高田 純

学校司書の配置状況等について

1. 学校司書の配置状況（令和4年10月現在）

- ・学校図書館の整備、充実を図り、児童生徒の読書環境の改善や教員の授業支援に資するため、平成26年度から小・中学校、義務教育学校へ学校司書（会計年度任用職員）の配置を進めている。
- ・配置にあたって、大規模校については1人の学校司書が1校を担当し、それ以外は1人が2校を担当する等工夫しながら進めており、現在、224校に対して150人の学校司書を配置している。
- ・令和5年4月には未配置となっている21校に対して配置する予定である。

	小学校（163校）	中学校（82校）	合計（245校）	学校司書人数
配置校数	146校	78校	224校	150人
配置率	89.6%	95.2%	91.5%	
複数校配置校数	95校	52校	147校	※73人が複数校配置
未配置校数	17校	4校	21校	

※義務教育学校（前期課程）は小学校、義務教育学校（後期課程）は中学校に含める

2. 1人2校担当校（複数校配置）の状況

- ・令和4年度から1人の学校司書が2校を担当する配置を大幅に拡大している。
- ・1校あたりの配置時間が減ることになるため、教育委員会が提示する「学校図書館に関する職務分担表」を踏まえながら、学校司書が教員（図書館担当者）と役割分担を図り、業務の優先順位をつけて取り組んでいる。
- ・教育委員会事務局の図書館担当者等の個別訪問等による支援を継続する。

3. その他

- ・学校図書館における無線LAN整備
※令和4年度小学校で完了、令和5年度中学校を予定
- ・蔵書管理システムの検討